



【令和3年度要求額 12,265百万円+事項要求(11,009百万円)】

世界水準の「ナショナルパーク」を実現し、国立公園の保護と利用の好循環により、地域活性化を図ります

1. 事業目的

- 日本の国立公園のブランド力を高め、国内外の誘客を促進。利用者数だけでなく、滞在時間を延ばし、自然を満喫できる上質なツーリズムを実現。
- 地域の様々な主体が協働し、地域の経済社会を活性化させ、自然環境の保全へ再投資される好循環を生み出す。

2. 事業内容

平成28年3月に政府がとりまとめた「明日の日本を支える観光ビジョン」の柱の一つとして国立公園が位置づけられ、2020年国立公園訪日外国人利用者数年間1000万人に向けて取り組み、2019年に約667万人まで増加。しかし、**2020年に新型コロナウイルス感染症の影響により国内外の観光客が大幅に減少**し、国立公園の観光地では大きな打撃が生じている。これを踏まえ、**国内の幅広い利用者層の誘客促進、ウィズ/ポストコロナ時代の新たなライフスタイルに合った国立公園の利用提供**を進め、国内外の利用者の復活を図る。

- ・**基盤的な利用施設の整備**：登山道の再整備、ビジターセンターの充実、キャンプ場リニューアル等
- ・**公園施設の長寿命化対策**：木道やトイレの改修等による長寿命化
- ・**国内向けの誘客の強化**：ワーケーション等の新しい利用提供、認知度向上のためのプロモーション等
- ・**受入環境・体制の充実**：地域での連携促進、コンテンツ充実、人材育成、利用者負担の仕組みづくり等
- ・**山小屋の施設改修支援**：感染症対策、自然災害対応、環境配慮型トイレ導入

3. 事業スキーム

- 事業形態 請負事業／交付金／補助金
- 請負先 民間事業者・団体／都道府県・市町村
- 実施期間 平成28年度～

4. 事業イメージ



- ・ビジターセンターや展望台、歩道等の利用施設を整備・リニューアルし、美しい景観や自然を満喫できる基盤を充実



- ・国内向け誘客の強化、ワーケーションの推進、プロモーションの実施等を通じ、国立公園の国内外の利用者を復活



- ・山小屋での感染症対策や自然災害対応のための施設改修、環境配慮型トイレ導入支援により、登山者の安全・安心と山岳環境の保全を確保